

○「ふるさと開発協議会報告書」私はこの本をことあるごとに何度も何度も読み返しています。そして、地鶏や青豆、蕎麦、小麦が秀逸な原料として喜ばれること、じよんのびファームで馬や山羊がいて癒されたい人たちに喜ばれること、山菜料理で一万円二万円のコース料理が楽しめて懐かしむお客さんや新しいお客さんに感動を与えたいこと、高柳で食の自給率100%超えで暮らす人に安心してもらうこと、農を生業にする若者を増やして地域に力をつけること、高柳の原料で酒、ビール、ウィスキーを作ること、交流人口を増やすこと、自治体を越えて雪郷ブランドを作ること、エネルギーを自給すること、次世代を担える人材を作ること、意識あるグループがすぐに事業が興せること、子供達が将来ここで事業を興せるような環境にすること、、、などなど。

○数えればきりが無いほど想像しています。そしていくつは実現しています。いきなり想像することは難しいかもしれませんが、ですから自分の妄想をいろんな人と膝附合わせて情報発信することから始めていきたいと思っています。



新潟原産の「とうまる」の血を引くじよんのび(にいがた)地鶏



今年のじよんのび村の代かきは馬鋤でおこなわれました。



夢が広がる高柳の新しい風景
岡田の麦畑

○7月27日開催の高柳地区地域懇談会において、現在の重要な懸案事項である小中学校の統合について市長から「昭和の時代から高柳地区では中後、石黒、門出と小学校の統廃合を繰り返してきた。その歴史は必然だと考える」という発言がありました。当然それは私達にとって必然ではないし、学校だけでなく高柳町自体の未来の可能性を信じています。そんな今だからこそ、ふる協報告書を指南書とし「今できること」「これからの高柳」を膝附合わせみんなで考えてみませんか？～編集部～

(報告書をお持ちでない方はコミセンまでお問い合わせください)

発行 高柳コミセン「じよんのびの里」部会

乗岡元孝 大倉正大 米山硬

田辺忍 小林抄吾 吉田敦子

大橋拓哉 山崎智仁 小野島弘

編集 NPO法人里山夢もっこ

高柳地区コミュニティ振興協議会

〒945-1595 柏崎市高柳町岡野町 1849-1

TEL & FAX : (0257) 41-2234

E-mail: c-takayanagi@kashiwazaki-cc.net